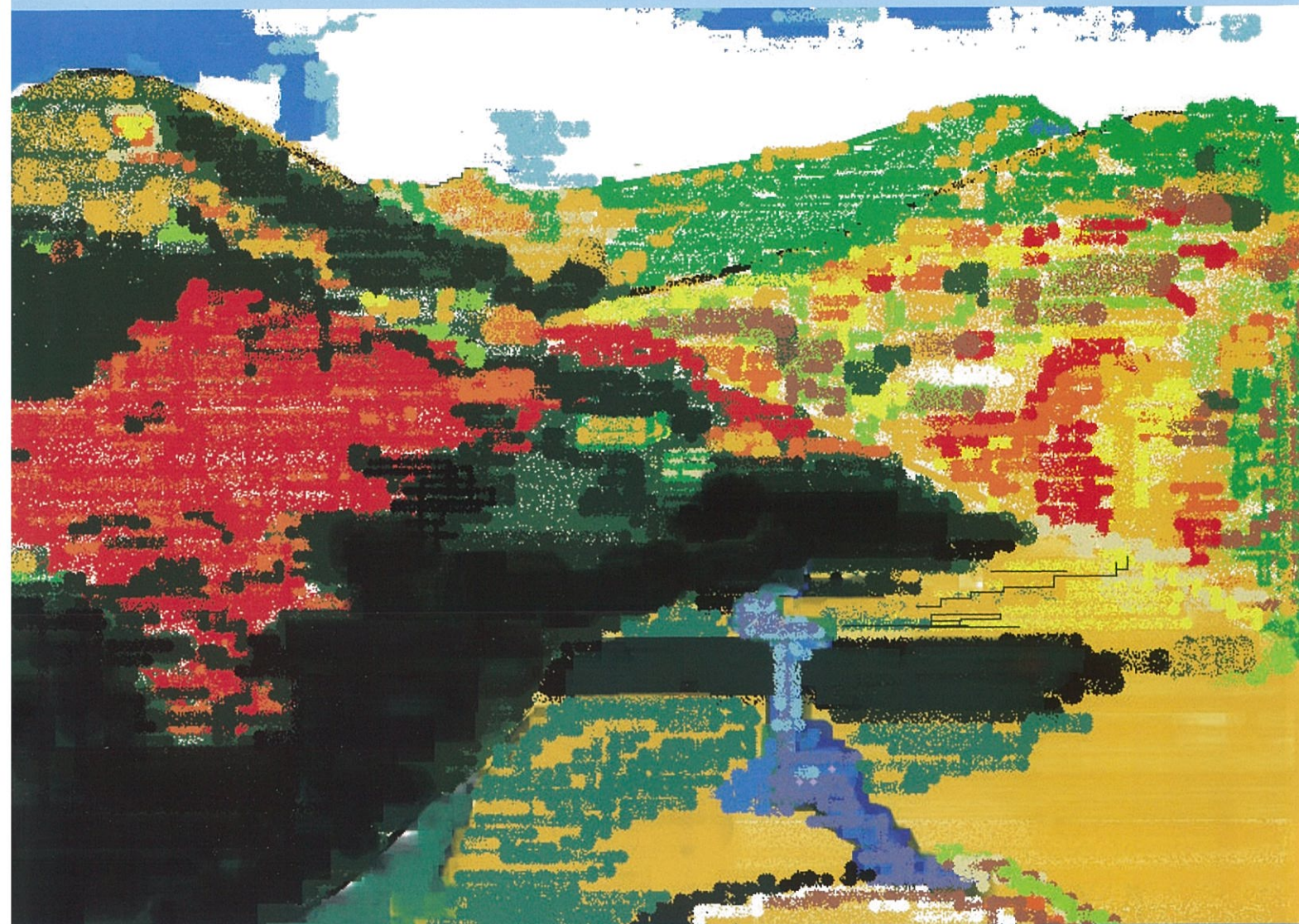


病院の理念

(いのち)

生命を育み未来を大切に

1. 人権を尊重し、心のこもった医療を実践します。
2. 地域との連携を図り、安全かつ専門的な医療を提供します。
3. 主体的に参画し、健全な病院運営に努めます。



作品名『紅葉』 作者名：花村賢明様 (A 1 病棟の患者様)

CONTENTS

- 放射線科だより 最新の高性能1.5T MRI装置導入決定
- 看護部だより ふれあい看護体験
- 栄養管理室だより 秋の水分補給
- 臨床研究部だより 新型コロナウイルス感染症の生物学的側面と心理社会的側面
- 医療福祉部だより すべての人に星空を
- 地域医療連携室だより 地域医療連携施設の紹介マラソン 49
かさい内科クリニック
- 臨床工学室だより 単位の雑学

看護師
募集中



最新の高性能1.5T MRI装置導入決定

撮影透視主任

清水 俊宏



MRI (Magnetic Resonance Imaging) とは磁気共鳴画像という意味で、磁場と電波の力で体内を撮影する装置です。放射線は使用しませんので、放射線による被ばくはありません。診療放射線技師が撮像しています。脳、脊椎、腹部、関節、子宮卵巣、血管等、様々な部位の解剖学的、質的診断が可能となります。

当院ではさらなる医療の質の向上のため最新の高性能MRI装置を導入します。

フィリップス社製1.5T-MRI装置の「Ingenia Evolution」が2021年11月上旬より稼働予定です。

MRI更新工事期間中は、皆様には大変ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。

今までは2004年製のMRI装置を用いてきましたので、17年ぶりの更新となります。診断できる画像は撮れておりましたが、撮像時間を短くできないことと、検査中に入るトンネルの中が狭く圧迫感があることが課題でした。

新しく導入されるMRI装置は患者様に優しい特徴がたくさんあります。

例えば、

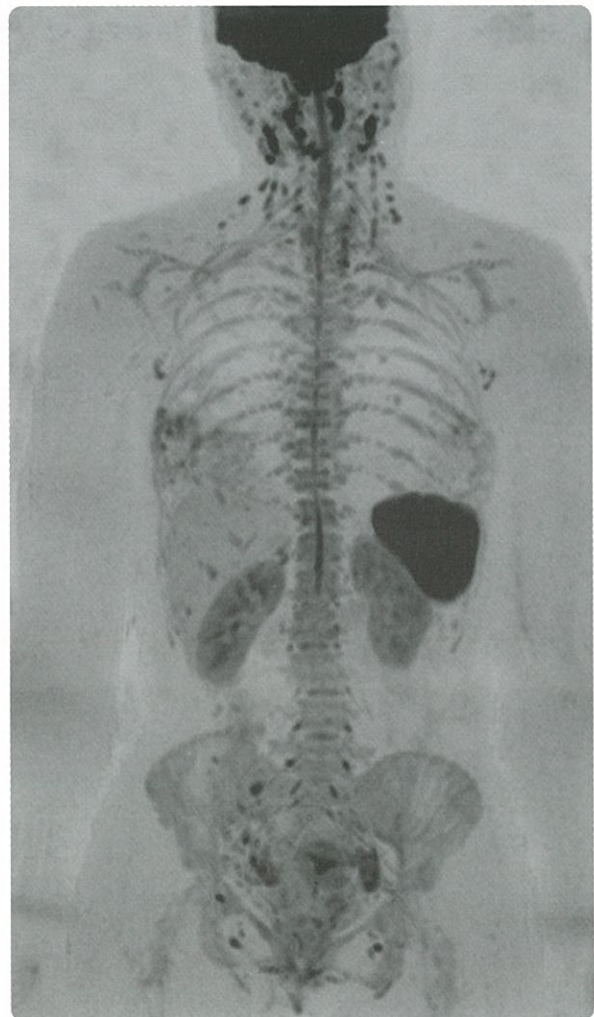
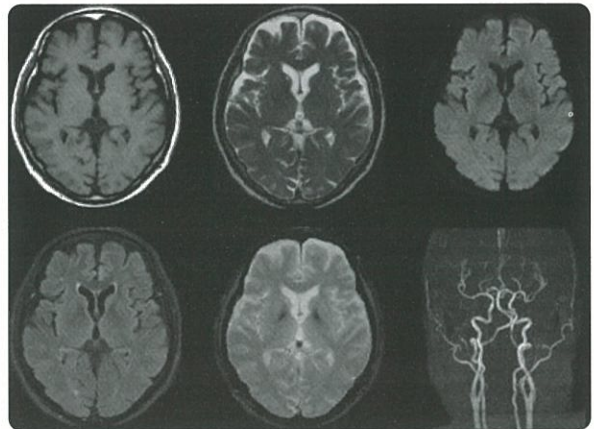
- ・トンネルが広がるので検査中の圧迫感や不快感を軽減することができる。
- ・検査時の騒音が軽減される。
- ・より画質を向上させつつ、検査時間が短くなる。
- ・今までできなかった、様々な種類の検査に対応できるようになる。

など従来の装置と比べてあらゆる面で優れております。

ところで皆様、「ラジエーションハウス」というドラマをご存じでしょうか。2019年4月に放送された放射線科を舞台にした医療ドラマです。長良医療センターの放射線科は、ドラマの影響を受けて同じユニフォームにしてしまったほどです。なんと10月からは「ラジエーションハウスⅡ」が放送されるようで、MRI装置が出てこないかと楽しみにしています。放射線科のことを知って頂く機会が増えて嬉しい限りです。

放射線科一同、縁の下の力持ちとして患者様にやさしい検査、そして診療や治療に役立つ高品質な画像を提供できるように研鑽に励んでまいります。

これまで以上に設備を充実させ、皆様の健康を支える長良医療センターにご期待ください。



ふれあい看護体験

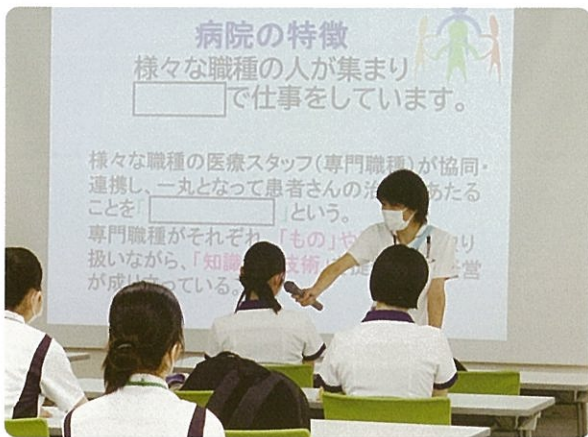
～中学生・高校生 1日看護体験～

教育担当(看護師長)
稲垣 根子

昨

年度は実施できなかった『ふれあい看護体験』を、今年度は感染対策を十分に配慮した上で、中学生3名、高校生14名に参加していただきました。皆さん緊張した表情で病院に来られましたが、玄関を入り、体温チェック・手指消毒実施後、白衣に着替え、記念撮影と進むうちに、笑顔もみられ、初々しい新人看護師さんのようでした。

午前中は酒井看護部長からの、過去の医療ドラマから今話題のドラマの内容をまじえながらの「看護のお話」と、当院の感染管理認定看護師の安江副看護師長から、日常生活に即した「感染管理のお話」は皆さん真剣に聞き入っていました。



その後、モデル人形を使っての聴診体験、高校生の方々には採血を体験してもらいました。午後には、直接患者様とは触れ合うことはできませんでしたが、病棟での患者様と看護師の様子を見てもらいました。「患者さんの目を見て意思疎通する姿がとてまかっこよ

かったです」と感想が聞けて短い時間に当院の大切にしている『笑顔のある、あたたかな看護』を感じてもらえた時間でした。

手術室では、外科医師と一緒に、本番さながらの機材を使っての体験は、興奮気味に楽しそうでした。



最後には、酒井看護部長から一人一人に終了書を手渡され、満面の笑みで受け取る姿に、開催した私たちの方が嬉しくなりました。

今回参加していただいた皆さんと将来、一緒に働ける日が来ることを願っています。



秋の水分補給

栄養管理室長
石原 詠子

敵

しい残暑もようやく終わり、秋の訪れを感じる10月となりました。

過ごしやすい季節になりましたが、夏だけではなくこれからの時期も大切なのが水分補給です。

暑いときは熱中症予防に水分補給をすることがあたりまえになりましたが、これからの季節“汗をかかないから”“喉が渇かないから”と水分の摂取量が少なくなりがちです。また、コロナ禍の今、マスクは必需品ですがマスクを着用していることにより、身体の熱が放出されにくく体内温度が上昇しやすくなります。マスクをすることで口の中の湿度も保たれるため喉の渇きに気づきにくくなり、気が付かないうちに脱水症状を引き起こしてしまう可能性が高まります。

成人の場合、一般的に体重の約60%が水分と言われ、体内の水分量は加齢とともに減少します。特に高齢者は身体に蓄えられる水分量が少ないため、意識的に水分補給を心がけることが大切です。

水分を摂取する際の注意点として、アルコールや多量のカフェインを含む飲料、砂糖や塩分を多く含む飲料は水分補給として適しません。摂りすぎには注意が必要です。

水分補給のポイント

1. 喉が渇く前に水分を摂りましょう！

喉が渇いたと思った時にはすでに水分が足りない状態です。

起床時・食事の時・入浴後・就寝前など喉が渇いていなくても水分を摂るようにしましょう。

2. こまめに水分を摂りましょう！

一度にたくさんの水分を摂取しても身体は上手く吸収することはできません。ちょこちょこ水分を摂るようにしましょう。

※腎臓・心臓等の疾患で治療中の方は主治医の指示に従って下さい。



参考文献

「健康のため水を飲もう」推進運動 厚生労働省

新型コロナウイルス感染症の生物学的側面と 心理社会的側面

生物心理社会モデルbiopsychosocial modelと社会的処方social prescribing

臨床研究部長

高橋 一浩

この文章を書いている現在、新型コロナウイルス感染症が爆発的増加をしている。医学がこれだけ進歩している日本で、新型コロナウイルス感染症が、これだけ蔓延、長期化することを誰が予測していたであろうか？ 新型コロナウイルス感染症の病原体はSARS-CoV-2である。言ってみれば、単なるウイルス感染症である。しかし、医療だけでは対応できないことは明らかである。単に、ウイルス感染という生物学的な現象ではなく、保健所など公衆衛生体制や行政対応の不備、経済への影響、家族・学校など地域社会的混乱、マスコミの問題、ライフスタイル変化に伴う、うつ・自殺の増加、環境への影響と、心理・社会的なあらゆる次元でのシステム機能不全が生じている。

近代西洋医学における医学研究は、生物医学モデルbiomedical modelに基づいている。つまり、1. 疾患の原因はある特定の原因に還元できる（還元主義）、2. 物理化学的なメカニズムで現象を説明し、病因を排除したり、メカニズムの異常を正常化して疾患を治療する（機械論）という2つの前提（デカルト的二元論）に基づいている。この生物医学モデルに基づく医学は、疾患の病態生理の解明、治療法の開発など成果を挙げてきた。このモデルでは、個々の患者は一般科学法則の適応例の一つで、他の例と互換可能なものとされる。従って、個々の患者の価値観、こころの問題、対人関係（家族や友人）、社会

文化的問題、といった患者自身のユニークな人生は全て捨象される。近年、この生物医学モデルが現代医療の矛盾、医療崩壊の構図の一端を担っているともいわれている。

これに対する疾患モデルとして、生物-心理-社会モデル（bio-psycho-social model：BPSモデル）が、精神科医であるジョージ・エンゲルによって提唱されている。これは人間の疾患を、病因⇒疾患という直線的な因果関係ではなく、生物、心理、社会的な要因のシステムとして捉え、人間を総合的・多元的にみる医学観である。

これまでの生物医学モデルによる医療は、単純な疾患の治療に関しては有効であるが、医師は観察者・操作者として、患者を取り巻くシステムの外にいる。一方、BPSモデルにおいては、医師は患者を取り巻くシステムの一部であり、様々な領域の医療者が絡んだチームとなり、多面的に取り組むことが必要になる。各科専門医、看護師、薬剤師、ケースワーカーなどコメディカルとチームを形成するだけでなく、施設の壁をこえた地域の保健福祉職などとの連携も重要で、「地域の力」を借りることも必要になる。コロナのような複雑で多重層に絡んだ問題に対応するためには、医師を含めた医療従事者が、病院から抜け出し、地域や社会での活動にも影響すること（社会的処方social prescribing）が必要である。

すべての人に星空を 夏休み特別企画「星空観賞会（プラネタリウム）」

児童指導員

本田 晋一

今

年の夏も、新型「コロナ」感染症予防のため、外出や面会、活動等に制限のある日々が続きました。

こんな時だからこそ、特別な夏にしたい、楽しい思い出を作りたい、そんな想いでいる中、「一般社団法人星つむぎの村」より移動式のプラネタリウム機器をお借りすることができ、夏休み特別企画として「星空観賞会（プラネタリウム）」を行いました。

お借りした機器は移動式で、病棟のデイルームや病室、病棟外のホール等、患者様の病状に応じて柔軟に場所を変えて実施することができました。



患者様は、天井に美しく浮かび上がる星座に見とれたり、「星が見えるよ」「私の星座がある」と天井を指さしたり、頭上に迫りくる惑星を「うわー来たー」と両手を目一杯広げて受け止めようとしたり、刻々と変わる夜空の様子を楽しまれていました。プラネタリウムにはナレーションもついており、星の動きや星座、宇宙と惑星のことについて分かりや

すく解説がありました。

内容は患者様によっては少し難しかったかもしれませんが、ナレーションの声心地良かったのか、声を聴いて嬉しそうな表情を浮かべている患者様もいらっしゃいました。



今まで、患者様は外出や散歩等で日中の空の様子をご覧になったことはあったと思いますが、夜空の星を眺める機会はなかなか無かったかと思います。いつも過ごしている場所の天井に、標高の高い山の頂上にいなければ見ることができないような星空が一面に広がる。それを車イスやベッドの上から見上げながら、美しい星座と、どこまでも広く深い宇宙の物語を、患者様それぞれの感じ方で楽しんでいただけたと思います。

現在も、思うように外に出たり、家族と会っていただくことができない状況が続きますが、日々の日中活動の中においてもプロジェクターやパソコン等を活用した映像体験等を通して、少しでも今の生活に「広がり」を感じていただきたいと思います。

かさい内科クリニックの紹介

～地域医療連携施設の紹介マラソン 49～

かさい内科クリニック院長
葛西 哲宏

新 型コロナウイルス感染症最前線の医療現場で日夜献身的に医療従事しておられる長良医療センターの医師・看護師・医療関係者の方々には深い敬意と感謝の意を表します。日頃から病診連携で大変お世話になり、特に肺疾患(肺癌・肺炎・肺結核・非結核性抗酸菌症・自然気胸等)でいつも呼吸器内科・外科の先生には迅速的確な診断・治療をしていただき感謝しております。当院は平成7年3月に岐阜市内七郷地区上尻毛にて開業し、小児から超高齢の皆様ファミリードクター(かかりつけクリニック)を目指してあつという間の26年が経過しました。「日本内科学会認定 総合内科専門医」「日本消化器内視鏡学会認定 内視鏡専門医」として、生活習慣病に関しては「癌を早期発見すること」と「血管を守ること」を重要と考え、経鼻内視鏡・大腸内視鏡・超音波検査等で消化器癌・甲状腺癌等の出会いを大切にしています。また、頸動脈エコー・脈派図検査等で脳血管障害・心筋梗塞等の動脈硬化性疾患の評価や禁煙外来で肺癌の予防、管理栄養士によるオーダーメイド指導等で糖尿病・脂質異常症・高血圧・慢性腎臓病・肥満等に対応しています。当院スタッフは看護師・臨床検査技師・管理栄養士・受付事務全員お互いが感性を高め価値観を共有できるように、謙虚な姿勢と思いやりの心で、『たくさん笑顔とありがとうに出会うこと』を目標に、CS(感動) = ES(歓働) = MS(貫道)を

目指しています。日常診療の中では患者様から病気や人生についても教えていただくことも多く、なかなか難しいことではありますが患者様と共に学び、質の高いチーム医療の実践を目指していきます。新型コロナウイルスパンデミックの中、「不要不急の外出自粛」「スローダウン」「ステイホーム」「三密の回避」等のコロナフレーズが毎日耳に入ってきます。この機会に私たち一人ひとりがウイズコロナ社会の在り方や自分の人生を見つめ直すきっかけにし、私自身も心が休まりくつろげるような安息の場としての「ホーム」を育てていきたいと思っています。外出自粛、ステイホームにより運動不足となり特に御高齢の方には将来のサルコペニア・フレイル対策が望まれます。今後も地域のかかりつけクリニックとして機能するために長良医療センターをはじめ病院との連携が不可欠です。今後共何卒宜しくお願い申し上げます。

■診療科目

内科・消化器内科

呼吸器内科・循環器内科・小児科・皮膚科
リハビリテーション科・アレルギー科・糖尿病内科

■診療時間

午前9:00～12:00 月～土
午後4:00～7:00 月・火・木・金
◇在宅医療・往診応需

■休診日

日曜日・祝日・水曜日午後・土曜日午後

〒501-1148 岐阜市上尻毛日吉125
TEL.(058)239-0770 FAX.(058)239-2237



ニューフェイス紹介



新規採用

一般職員
のぐち ゆうせい
野口 祐生

- 抱負、自己PR
これからよろしくお願ひします
- 好きな言葉、座右の銘
ありがとう
- 出身地
愛知県
- 趣味
USJかディズニーに行きたいです

単位の雑学

～雑学シリーズ6回目～

臨床工学技士

岩瀬 岳志

病

院では、血圧計のmmHg、輸液ポンプのml/hなど多くの単位が存在します。そこでシリーズ6回目では単位を掘り下げていきたいと思いません。

●単位とは

日本人とアメリカ人との会話にて単位がない会話の紹介。



「今日は暑いね。34あるよ」



「え！34？寒いよ」

単位があると



「今日は34℃あるよ」



「34℃ね。それは暑い」

上記の会話ではアメリカ人は℃でなく、国で使用している°Fとってしまった。

日本の34℃はアメリカでは93°Fと表示。34°Fは約1℃となり寒い。

このように、単位があると会話がかみ合います。

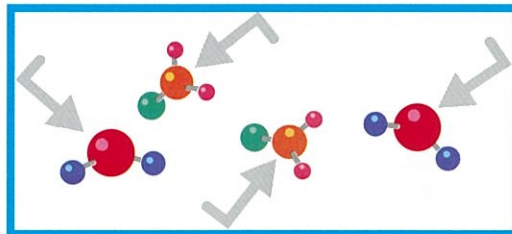
●単位には国際ルールがある

国際基本単位という世界共通のシステムがあり、7つの単位がある。

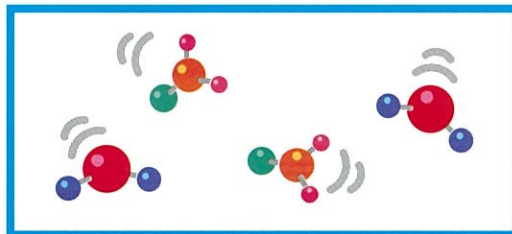
そのなかには、温度が入っている。温度は毎日計測するほど身近なものになってきましたが、国際基本単位ではK(ケルビン)です。

●温度とは

分子や原子が激しく動くと高温。



分子や原子がゆっくり動くと低温。



●温度の単位の種類

3種類あり、K(ケルビン)、℃(セ氏温度)、°F(カ氏温度)である。

単位の文字が大文字の時、人物由来の単位であり、℃はセルシウスさん、°Fはファーレンハイトさん。日本の単位である℃は、固有の記号で表される国際組立単位です。

●雑学深堀

°Fと℃の計算方法を覚えていくと、最初の会話の意味が理解でき海外で役立つかも。°F表示の体温計も対応可能です。

$$^{\circ}\text{C} = (^{\circ}\text{F} - 32) \div 1.8$$

$$^{\circ}\text{F} = 1.8 \times ^{\circ}\text{C} + 32$$

*参考文献：うえたに夫婦：大和書房：メートルくんとキログラムくんと単位の仲間たち

職員リレーノート

～自由なメモ帳～

臨床検査科

伊藤 淳二

私

は長良医療センターに赴任して今年の4月で3年目を迎えました。出身地は「クルマのまち」で有名な愛知県豊田市で、現在は豊田市のお隣の「みよし市」に生活の拠点をしています。以前、石川県の施設で働いていた関係で、自宅への往復途中に岐阜県は度々立ち寄り、鮎料理や温泉及び風景などを堪能していました。そのため、私は生活基盤がなかったにも関わらず、岐阜は身近で馴染みのある地域の一つであります。

さて、最近の私の話題として、自宅の植木が挙げられます。昔、1ヶ月近く手入れをしなかったため、複数の木が枯れてしまいました。それでも、たまにはありますが、水や肥料などを与えており、この時期になりますと花を咲かせるようになりました。植木が順調に発育していくと以前は興味もなかった植木の名前を調べることや他の植木にも興味が湧いてきました。今は庭へ鉢植えのオリーブの木や他の木を植える



梅

ことを考えています。それに加えて裏庭に植えている小梅の実を収穫し、加工することも検討しています。



オリーブ



マサキ



小梅

外来診療のご案内

	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器内科	32	加藤 達雄		安田 成雄		加藤 達雄		加藤 達雄		安田 成雄	
	33	浅野 幸市		松野 祥彦		大西 涼子		鮎 稔隆		松野 祥彦	松野 祥彦 〔禁煙外来〕
	31	大西 涼子						鮎 稔隆		浅野 幸市	
呼吸器外科	31			藤永 卓司	藤永 卓司 〔初診〕						小松 輝也
	33				長田 駿一						
循環器内科	42	宮田 周作				宮田 周作		谷垣 徹		宮田 周作	
ペースメーカー	42			宮田 周作 〔第3・4週〕							
消化器内科	43		加藤 則廣					加藤 則廣			
脳神経外科	43	松久 卓		荒木 有三		松久 卓			荒木 有三	荒木 有三	
心臓血管外科	42			富田 伸司 〔第2週〕							
内分泌内科	1							武藤 佐弥香			
産婦人科	200	大西 貴香				大西 貴香				大西 貴香	
小児科	52	高橋 一浩	丸田香奈子 〔重症心身障害・腎〕	船戸 道徳	宮崎久美子 〔フォローアップ〕		川本美奈子 〔アレルギー・喘息〕	船戸 道徳	平田 和裕 〔救急・集中医療〕	高橋 一浩	原 晃啓 〔神経〕
	53		星 みゆき 〔アレルギー〕	星 みゆき	滝 大樹 〔アレルギー〕〔第2・3・4・5週〕	西村 悟子	船戸 道徳 〔循環器・血液〕	星 みゆき	葛西 涼介 〔発達障害〕〔第1・2・4・5週〕	丸田香奈子	高橋 一浩 〔難病・自立性調整療育〕
	54				下川 祐子 〔アレルギー〕				渡邊 宏雄 〔てんかん〕〔第3週〕		船戸 道徳 〔筋・発病〕〔第2・4週〕
	53/54				館林 宏治 〔フォローアップ〕〔第1週〕				館林 宏治 〔フォローアップ〕〔第3週〕		森 理香子 〔未定〕〔第1・3・5週〕
	57	平田 和裕	原 晃啓 船戸 道徳	葛西 涼介	平田 和裕	原 晃啓	葛西 涼介	宮崎久美子	滝 大樹	滝 大樹	葛西 涼介
神経小児科	53										
	54	安藤 恵美子		高橋 一浩		安藤 恵美子		加藤 善一郎 〔第2・4週〕		船戸 道徳 〔第1・3・5週〕	
	55									西村 悟子 〔第1週〕	
	57								矢野 充		矢野 充
小児外科	55	加藤 禎洋		水津 博 〔形成外科のある週〕		安田 邦彦	鴻村 寿 〔第3週〕	水津 博 〔第1・3・5週〕			
形成外科	55							小池 学 〔第2・4週〕			
リハビリ診療	57	平田 和裕	原 晃啓 船戸 道徳	葛西 涼介	平田 和裕	原 晃啓	葛西 涼介	宮崎久美子	滝 大樹	滝 大樹	葛西 涼介
脳神経外科(小児)	54						近藤 五郎 〔第2・4週〕				

※予約制を行っています。再診予約電話058-232-2800(平日8時30分~17時15分)

交通案内



自動車

- 高山方面より
東海北陸自動車道
関インターより30分 (R156号線経由)
- 名古屋方面より
東海北陸自動車道
一宮木曾川インターより30分 (R22号線経由)

電車・バス

- J R 東海道本線岐阜駅下車又は名鉄名古屋本線岐阜駅下車
岐阜バス
- 長良医療センター行(所要時間26分) 終点下車
J R 岐阜駅前 バスターミナル ⑬番のりば
名鉄岐阜駅前 バスターミナル ④番のりば
- 松瀬団地行(所要時間23分) 長良医療センター口下車 ▶ 徒歩5分
J R 岐阜駅前 バスターミナル ⑬番のりば
名鉄岐阜駅前 バスターミナル ④番のりば



NAGARA 国立病院機構 長良医療センター
http://www.hosp.go.jp/~ngr/

長良医療センター

〒502-8558 岐阜市長良1300-7
代表TEL:058-232-7755 FAX:058-295-0077
予約センターTEL:058-232-2800

●令和3年10月1日発行 ●印刷/山興印刷株式会社